

事務事業実績測定調書

10101020004	災害時要援護者避難支援事業		
測定年度	2019(R1)年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち	
	施策目標	1:1.災害に対する備えができているまち	
	取り組みの方向	2.市民、市民団体、事業者、行政がお互いに協力し合える関係をつくることで、地域における防災力の向上を図ります。	
	実行計画事業名	災害時要援護者避難支援事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2006(H18)年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	災害時の逃げ遅れ等の2次被害を防ぎ、災害時要配慮者の安全を確保する。				
事業概要	災害が発生した場合、自力で避難指定場所まで避難することが困難な高齢者や障害者の逃げ遅れの防止を行う。手上げ方式で要援護者の申請を受け付け。民生委員に要援護者情報を提供し、地域の自助・共助のもと、避難支援者の設定を行う。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	災害時要援護者避難支援事業の登録人数のうち、避難支援者が設定されている割合 【算出式:避難支援者が設定されている人数/全登録者数】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	100	100	100	100		
実績	34.1					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.07	0.19	0.19
正職員数	0.07	0.09	0.09
非正規職員数(計)	0.00	0.10	0.10
再任用職員数	0.00	0.10	0.10
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	551	1,208	1,232
正職員人件費(換算額)	551	716	722
非正規職員人件費(計)	0	492	510
再任用職員人件費(換算額)	0	492	510
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	8,784	9,454	9,712
■事務事業の総計(千円)	9,335	10,662	10,944
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	9,335	10,662	10,944

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	34.08%	50%未満 : 低い
事務事業の実績	<p>災害時において、自力で避難することが困難な高齢者や障害者に対して、地域住民による避難の援護体制の確保を行った。また、並行して取り組む災害ボランティアの募集では、ボランティア講座等で参加者へ案内・啓発を行い、現在209名が登録しており、枚方市主催の「枚方市総合防災訓練」への参加、災害ボランティアセンターの設置・運営セッションを実施するなど、災害ボランティア活動のさらなる推進を図った。</p>	
今後の方向性	改善	
具体的な 今後の取組方策	<p>災害対策基本法が平成25年度に改正され、要介護者や重度の障害のある方といった避難行動要支援者に係る名簿の作成が市町村に義務付けられたことを踏まえ、改正に伴う関係部署での今後の対応も見極めながら、整合が図れるよう本事業を進めていく。</p>	

事務事業実績測定調査

10102020001	災害医療対策関係事務		
測定年度	2019(R1)年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち	
	施策目標	2.災害時に、迅速・的確に対応できるまち	
	取り組みの方向	6.災害発生時に迅速な医療の応急処置活動が行える体制を整備します。	
	実行計画事業名	災害医療体制整備事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2011(H23)年度		～		
根拠法令等	災害対策基本法、新型インフルエンザ等対策特別措置法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	災害発生時には迅速に適切な医療救護活動を、新型インフルエンザ等発生時には蔓延防止措置や罹患時の適切な処置を行い、市民の生命や身体を保護することにより、安全安心な生活を確保する。				
事業概要	枚方市災害医療対策会議等の開催及び災害医療訓練の実施等、関係機関との相互連携を強化する。新型インフルエンザ等対策については、「枚方市新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づき対策を講じる。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	災害医療訓練参加者のうち、枚方市災害医療体制について理解した人の割合					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	80	80	80		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.28	1.42	1.22
正職員数	0.88	1.02	1.22
非正規職員数(計)	0.40	0.40	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.40	0.40	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	9,492	10,673	9,781
正職員人件費(換算額)	6,929	8,110	9,781
非正規職員人件費(計)	2,563	2,563	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	2,563	2,563	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	1,542	1,275	1,258
■事務事業の総計(千円)	11,034	11,948	11,039
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	11,034	11,948	11,039

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	<p>災害から市民の生命を守り、防災体制の強化・充実を図るとともに、災害発生時に迅速かつ適切な医療救護活動を展開するために設置している枚方市災害医療対策会議において、災害時における医療救護体制の強化を図るため、会議を8月に開催した。</p> <p>平成27年度に枚方市薬剤師会と締結した「医薬品等の備蓄・供給の協力に関する基本協定書」について、災害発生時により実効性の高い備蓄となるよう協定及び覚書を改めて締結し、備蓄品目及び数量・備蓄場所等について見直しを行った。</p> <p>災害発生時に迅速かつ適切な医療救護活動を展開できるようにするため、拠点応急救護所の設置施設である災害時医療協力病院の枚方公済病院と9月に災害訓練の事前研修会及び10月に連携訓練を実施した。また、6月16日に実施した枚方市総合防災訓練「枚方ひこ防'z2019」において、拠点応急救護所設営訓練を行った。さらに、5月に佐藤病院が実施する災害訓練、6月から8月にかけて関西医科大学附属病院が実施する災害訓練の事前研修会・机上訓練及び9月の実働訓練、12月に市立ひらかた病院が実施する災害医療訓練を枚方市災害医療対策会議として見学を行った。これらにより、災害医療活動について理解を深め、体制や動作の確認を行った。</p> <p>新型インフルエンザ等対策については、その強化を図るため、令和元年9月3日に第1回全体研修を実施した後、実施体制班ごとに研修を行った。また、新型インフルエンザ発生を想定した訓練に参加し、新型インフルエンザ等発生時の行政及び医療機関の動きや患者の搬送・引き渡しの流れ、PPE(防護服)の着脱について理解を深めた。新型コロナウイルス感染症感染拡大により、令和2年1月31日に新型コロナウイルス感染症対策本部を立ち上げ、各班体制で対応にあたった。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	災害時における医療救護体制の強化を図るため、継続して災害医療対策会議により災害医療等を検討するとともに、拠点応急救護所設営訓練等を行っていく。	

事務事業実績測定調査

10103010006	更生保護サポートセンター運営補助事業		
測定年度	2019(R1)年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち	
	施策目標	3.暮らしに身近な安全が確保されたまち	
	取り組みの方向	9.警察、行政などの機関と地域が連携を強化しながら、防犯体制の整備を進めるとともに、地域の防犯意識を高め、支えあいによる防犯力の向上を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2013(H25)年度		～		
根拠法令等	枚方・交野地区更生保護サポートセンター支援補助金交付要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	サポートセンターが、その場所を必要とする方に対して永続的に開かれ、今後もいっそう市の更生保護の推進に寄与すること。				
事業概要	地域における更生保護の活動拠点として、平成25年10月に設置された枚方・交野地区更生保護サポートセンターの運営を行う枚方・交野地区保護司会を支援する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	センターにおける電話、来所等の対応件数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	245	245	245	245		
実績	232					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.03	0.13	0.13
正職員数	0.03	0.03	0.03
非正規職員数(計)	0.00	0.10	0.10
再任用職員数	0.00	0.10	0.10
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	236	731	751
正職員人件費(換算額)	236	239	241
非正規職員人件費(計)	0	492	510
再任用職員人件費(換算額)	0	492	510
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	902	902	302
■事務事業の総計(千円)	1,138	1,633	1,053
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,138	1,633	1,053

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	94.69%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	<p>毎週火・水・木・土・日曜日の午前10時から午後4時まで運営している。(祝日・年末年始を除く) 枚方・交野地区更生保護サポートセンター支援補助金交付要綱に基づき、運営を行う枚方・交野地区保護司会に対し、枚方・交野地区更生保護サポートセンター支援補助金を交付した。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き更生保護活動を円滑に行うための支援を行う。また、国の新たな助成金の動向にも注視しながら、適正な補助金交付を行う。	

事務事業実績測定調書

10105020004	総合福祉会館維持管理事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち	
	施策目標	5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち	
	取り組みの方向	16.利便性の高い都市環境をめざし、医療施設や福祉施設、商業施設などの都市機能の集約を図る拠点を適正に配置し、効率的・効果的な都市整備を進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1998 (H10) 年度		～		
根拠法令等	枚方市立総合福祉会館条例及び同施行規則				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	高齢者・障害者などの福祉サービスが充実する。また、活動の場を提供することにより、福祉活動が促進される。				
事業概要	有料貸室の貸出・福祉図書コーナーの運営(福祉関係図書)福祉情報制作室の運営(点訳やビデオの字幕入力)・ふくし相談の実施・温水プールの運営など。				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【決算額/当初予算額】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	100以内	100以内	100以内	100以内		
実績	113.8					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.60	0.70	0.70
正職員数	0.60	0.60	0.60
非正規職員数(計)	0.00	0.10	0.10
再任用職員数	0.00	0.10	0.10
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	4,724	5,263	5,320
正職員人件費(換算額)	4,724	4,771	4,810
非正規職員人件費(計)	0	492	510
再任用職員人件費(換算額)	0	492	510
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	311,717	374,805	239,382
■事務事業の総計(千円)	316,441	380,068	244,702
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	10,100
受益者負担	21,254	16,338	14,363
その他	0	0	0
一般財源	295,187	363,730	220,239

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	113.80%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	指定管理者制度により、会館各室の貸し出し業務、ふくし相談、温水プールの運営、各種福祉講座・各種水泳教室を実施。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き適正な会館管理を行い、福祉活動の場を提供していく。	

事務事業実績測定調査

10206010001	健康医療都市ひらかた推進事業			
測定年度	2019 (R1) 年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課	
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち		
	施策目標	6. 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち		
	取り組みの方向	18. 「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」において、関係団体が連携しながら、多彩な連携事業の展開を通じて、市民の健康増進を図ります。		
	実行計画事業名	「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」連携事業		
総合計画体系②	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち		
	施策目標	9. 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち		
	取り組みの方向	40. 大阪府の「スマートエイジング・シティ」構想との連携など、高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりを進めます。		
	実行計画事業名	高齢者等在宅生活環境整備連携事業		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2012 (H24) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	健康・医療に関わる各関係機関が密接に連携し、顔の見える関係性を構築することで、様々な連携事業による市民の健康増進や医療体制の強化につなげる。				
事業概要	<p>平成24年8月に設立した「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」に参画する構成団体 14団体と連携団体 2団体を中心に、社会資源の共同利用や情報の共有、人材の交流、健康医療に関する情報発信等を行う。コンソーシアムにおける連携事業としては、以下の事業を想定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害医療対策のための連携事業 ・地域完結型医療実現のための連携事業 ・こころの健康増進のための連携事業 ・健康づくり・介護予防事業推進のための連携事業 ・母と子どもの健康支援のための連携事業 ・健康・医療アカデミー創設による連携事業 ・健康・医療関連の地域振興・まちづくりのための連携事業 ・健康・医療に関する情報発信のための連携事業 <p>【構成団体】14団体 枚方市、枚方市保健所、枚方市医師会、枚方市歯科医師会、枚方市薬剤師会、関西医科大学、大阪歯科大学、摂南大学、関西医科大学附属病院、星ヶ丘医療センター、枚方公済病院、大阪精神医療センター、市立ひらかた病院、枚方市病院協会</p> <p>【連携団体】2団体 枚方体育協会、枚方寝屋川消防組合</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	事務局主催事業における参加者アンケートで、「健康に関する意識が高まった」と回答した人の割合					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	80	80	80		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.93	0.65	0.60
正職員数	0.81	0.55	0.54
非正規職員数(計)	0.12	0.10	0.06
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.10	0.10	0.00
臨時職員数	0.02	0.00	0.06
■人件費総額(千円)	7,046	5,014	4,447
正職員人件費(換算額)	6,378	4,373	4,329
非正規職員人件費(計)	668	641	118
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	641	641	0
臨時職員人件費(実額)	27	0	118
■直接経費(千円)	639	246	232
■事務事業の総計(千円)	7,685	5,260	4,679
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	7,685	5,260	4,679

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」主催事業として、受動喫煙に関する知識の啓発を目的とした講演会及びシンポジウムを開催し、93人が参加した。 ・連携事業として実施している「枚方市医療通訳士登録派遣事業」において、派遣件数が特に多い医療機関において医療通訳士常駐化の試行実施を行った。医療通訳士の増員及び対象言語の拡大を図るため、第4回枚方市医療通訳士養成講座を開講し、令和元年12月に新たに医療通訳士2人(英語1人、中国語1人)を登録した。 ・市内の小中学生等に対し、歯磨き・口腔ケアや薬物乱用防止、食育などをテーマに学習機会を提供する健康医療キャラバン事業を1校で実施し、延べ32人が受講した。 ・枚方市健康・医療・福祉フェスティバルを10月27日に開催し、延べ8,053人が参加した。 ・新規事業等を検討、実施していくにあたり、コンソーシアム参画団体の代表者が参加する代表者会議及び事務責任者が参加する事務レベル会議を開催した。 	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」に参画する14団体を中心に、社会資源の共同利用や情報共有、人材の交流、健康医療に関する情報発信等を行うとともに、コンソーシアム参画団体の代表者が参加する代表者会議及び事務責任者が参加する事務レベル会議を開催する。 ・構成団体が実施している各連携事業について、課題や取り組み状況を事務局として確認し、対応していくとともに、新規事業の実施について検討を進める。 	

事務事業実績測定調査

10206020025	コミュニティソーシャルワーカー配置事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	6. 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	
	取り組みの方向	19. 誰もが日頃から健康づくりに取り組めるよう、健康増進に関する情報提供や相談体制の充実を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2006 (H18) 年度		～		
根拠法令等	枚方市コミュニティソーシャルワーカー配置事業実施要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	複合的な課題を抱えるなど、どこに相談したらよいかわからない人の相談窓口となり、問題解決に取り組むことで、安心して生活を送ることができる。				
事業概要	コミュニティソーシャルワーカーを配置し、地域の高齢者、障害者、ひとり親家庭など援護を要するあらゆる者又はその家族・親族等の支援を通じて、地域福祉の向上と自立生活支援のための基盤作りを行い、地域福祉の計画的な推進に資することで、健康福祉のセーフティネットの構築を図る。 コミュニティソーシャルワーカーを配置する「いきいきネット相談支援センター」は、事業を開始した平成18年4月は市内で2か所だったが、現在は5か所となっている。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	相談を通じて問題解決につながったと感じている割合					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	100	100	100	100		
実績	—	—	—	—		

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.25	0.35	0.35
正職員数	0.25	0.25	0.25
非正規職員数(計)	0.00	0.10	0.10
再任用職員数	0.00	0.10	0.10
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	1,969	2,480	2,514
正職員人件費(換算額)	1,969	1,988	2,004
非正規職員人件費(計)	0	492	510
再任用職員人件費(換算額)	0	492	510
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	25,581	31,260	31,613
■事務事業の総計(千円)	27,550	33,740	34,127
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	27,550	33,740	34,127

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	—	
事務事業の実績	<p>要援護者の生活・心身の状況及び家族等の実態を把握し、地域団体・専門機関と共に、見守りやサービス等の調整・複合する課題や公的なサービスだけでは対応できない人への支援体制づくりに向けて取り組んだ。また、継続して制度周知のための啓発活動を行っている。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	相談体制の充実や各関係機関との連携・調整等を円滑に図る。	

事務事業実績測定調書

10206020026	生活支援事業		
測定年度	2019(R1)年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	6. 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	
	取り組みの方向	19. 誰もが日頃から健康づくりに取り組めるよう、健康増進に関する情報提供や相談体制の充実を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		～		
根拠法令等	枚方市くらしの資金の貸付けに関する条例及び施行規則				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	生活が安定し自立した生活を送ることができる				
事業概要	一時的な生活困窮世帯で、一定要件のもと必要な金額の貸し付けを行う。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	くらしの資金 償還率 【算出式: H30年度以降貸付分の返済額/H30年度以降貸付分で返済期日が到来している額】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	69	70	71	72		
実績	71.61					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.35	0.35	0.45
正職員数	0.35	0.35	0.35
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.10
再任用職員数	0.00	0.00	0.10
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	2,756	2,783	3,316
正職員人件費(換算額)	2,756	2,783	2,806
非正規職員人件費(計)	0	0	510
再任用職員人件費(換算額)	0	0	510
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	0
■事務事業の総計(千円)	2,756	2,783	3,316
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	2,756	2,783	3,316

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	102.30%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	くらしの資金 相談件数132件、貸付件数9件	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	くらしの資金の制度については、平成27年6月より生活困窮者を支援する自立相談支援センターで初期相談を受け付けるなど、生活保護を要する状態に陥るおそれのある世帯へのセーフティネットとして機能している。債権管理や回収にかかる事務については、引き続き枚方市債権管理及び回収に関する条例等に基づき、適切に対応していく。	

事務事業実績測定調査

10208010001	健康・医療・福祉フェスティバル開催事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	8. 安心して適切な医療が受けられるまち	
	取り組みの方向	28. 「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」において、関係団体が連携しながら、地域医療の充実を図ります。	
	実行計画事業名	「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」連携事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1989 (S64) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	より多くの市民が参加することで、健康、医療、福祉に対する意識が高揚し、自ら健康づくりを実践する気運が高まる。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会、歯科医師会、薬剤師会、社会福祉協議会、枚方市の共催で「枚方市健康・医療・福祉フェスティバル」を開催する。 ・フェスティバル開催に向け、5団体より選出された委員による実行委員会を開催し、準備を進める。 ・フェスティバルでは各団体が健康・医療・福祉をテーマに様々な催しを実施する。 				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	健康・医療・福祉フェスティバル参加者アンケートで、「意識が高まった」と回答した人の割合					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	80	80	80		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.47	0.68	0.72
正職員数	0.44	0.68	0.66
非正規職員数(計)	0.03	0.00	0.06
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.03	0.00	0.06
■人件費総額(千円)	3,506	5,407	5,409
正職員人件費(換算額)	3,465	5,407	5,291
非正規職員人件費(計)	41	0	118
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	41	0	118
■直接経費(千円)	2,000	968	2,300
■事務事業の総計(千円)	5,506	6,375	7,709
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	5,506	6,375	7,709

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	<p>実行委員会を4回開催し、10月27日にラポールひらかたにてフェスティバルを開催した。健康を考えるポスターコンクール表彰式や健康相談コーナー、体験型講座などの様々な催しを通じて、健康・医療・福祉等の啓発等に関わる企画に取り組み、延べ8,053人が参加した。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<p>三師会をはじめとする実行委員参画団体の意見を反映し、そのスキルを生かして多様な年齢層が参加でき、満足度を向上できるような企画・立案を引き続き行うとともに、実行委員会の効率的な運営に努める。</p>	

事務事業実績測定調査

10208020001	ひらかた安心カプセル配布事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	8. 安心して適切な医療が受けられるまち	
	取り組みの方向	29. 地域のかかりつけ医から高度な医療を提供できる公的病院までが連携し、住み慣れた地域で必要な医療が受けられる地域医療の充実を図るなど、市民の医療ニーズに適切に対応できる医療体制を構築します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2010 (H22) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	緊急搬送時の対応に不安を持つすべての市民が、安心カプセルを所有する。				
事業概要	高齢者や障害者、一人住まいの市民等からの申請に応じて、ひらかた安心カプセル(救急医療情報キット)を配付する。なお、配付については、民生委員、枚方寝屋川CKD研究会に参加する市内の人工透析を行う病院・診療所及び枚方市医師会の協力医療機関を通じて行う。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	安心カプセルの配付数(累計)					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	個
目標(予測)	—	9,505	10,065	10,625		
実績	9,611					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.08	0.08	0.08
正職員数	0.08	0.08	0.08
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	630	636	641
正職員人件費(換算額)	630	636	641
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	418
■事務事業の総計(千円)	630	636	1,059
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	630	636	1,059

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	民生委員が見守り活動の中で、希望者に対し、順次「ひらかた安心カプセル」を配付するとともに、市内の人工透析を行う病院・診療所、枚方市医師会協力医療機関を通じて、希望者に配付した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、ひらかた安心カプセルの啓発・推進を図る。	

事務事業実績測定調書

10208030001	公共施設・コンビニへのAED設置事業		
測定年度	2019(R1)年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち	
	取り組みの方向	30.初期救急医療から高度救急医療を含む各医療機関の連携強化により救急医療体制を確保するとともに、応急救護体制の充実を図ります。	
	実行計画事業名	救急医療体制・応急救護体制充実事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2015(H27)年度		～		
根拠法令等	決裁、協定書				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市内公共施設や24時間営業のコンビニエンスストアにAEDを設置することで、いつでもAEDを使用できる環境を整備する。				
事業概要	突然の心停止からの救命率向上について、AEDの有効性が実証されており、市では従来から本市公共施設に設置していた。しかし、夜間や休日はAED設置施設が閉館しているため、平成27年4月から24時間営業の市内コンビニエンスストアに協力を得て、常時AEDを設置できる環境を整備するもの。なお、コンビニエンスストアからの要望に応じて、AED講習会を枚方寝屋川消防組合と連携して行うもの。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	健康福祉総務課が設置・所管するAEDの正常作動率 【算出式: 正常に作動したAED台数/実際に使用したAED台数】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	100	100	100	100		
実績	—	—	—	—		

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.35	0.29	0.28
正職員数	0.35	0.29	0.28
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	2,756	2,306	2,245
正職員人件費(換算額)	2,756	2,306	2,245
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	3,510	3,461	4,377
■事務事業の総計(千円)	6,266	5,767	6,622
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	6,266	5,767	6,622

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	令和元年度は、実際に使用したAEDはなかった。 令和2年3月末現在、枚方市内のコンビニエンスストア97店舗にAEDを設置している。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	新規開店店舗への設置を中心として設置店舗の増加を目指す。	

事務事業実績測定調査

10208030002	休日・土曜夜間急病診療事業		
測定年度	2019(R1)年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち	
	取り組みの方向	30.初期救急医療から高度救急医療を含む各医療機関の連携強化により救急医療体制を確保するとともに、応急救護体制の充実を図ります。	
	実行計画事業名	救急医療体制・応急救護体制充実事業	
総合計画体系②	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち	
	取り組みの方向	30.初期救急医療から高度救急医療を含む各医療機関の連携強化により救急医療体制を確保するとともに、応急救護体制の充実を図ります。	
	実行計画事業名	初期救急医療体制再構築事業	

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1974(S49)年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	日曜日・祝日・年末年始や土曜日の夜間に病気を発症した場合でも、内科診療を受診することができる。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 診療科目は内科と小児科。 診療日時は日曜日、祝日、年末年始の午前10時～12時及び午後1時～5時、土曜日の午後6時～9時。 診療業務については、枚方市医師会に全面委託し実施する。 				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	患者の受け入れ率					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	100	100	100	100		
実績	100					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.13	0.21	0.19
正職員数	0.13	0.21	0.19
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	1,024	1,670	1,523
正職員人件費(換算額)	1,024	1,670	1,523
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	26,463	26,442	26,716
■事務事業の総計(千円)	27,487	28,112	28,239
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	27,487	28,112	28,239

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	枚方市医師会に委託し、枚方休日急病診療所で休日・土曜夜間に内科及び小児科の診療を行うことで、5,731人の患者が適切な医療を受けることができた。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	休日・土曜夜間に病気を発症した場合でも、診療を受けることができるように引き続き実施していく。	

事務事業実績測定調書

10208030003	休日歯科急病診療所補助事業		
測定年度	2019(R1)年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち	
	取り組みの方向	30.初期救急医療から高度救急医療を含む各医療機関の連携強化により救急医療体制を確保するとともに、応急救護体制の充実を図ります。	
	実行計画事業名	救急医療体制・応急救護体制充実事業	
総合計画体系②	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち	
	取り組みの方向	30.初期救急医療から高度救急医療を含む各医療機関の連携強化により救急医療体制を確保するとともに、応急救護体制の充実を図ります。	
	実行計画事業名	初期救急医療体制再構築事業	

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1987(S62)年度		～		
根拠法令等	枚方休日歯科急病診療所運営補助金交付要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	日曜日・祝日・年末年始に歯科急病を発症した場合でも、応急的治療を受けることができる。				
事業概要	<p>本市の休日における歯科急病診療需要に応えるため、歯科医師会が開設している休日歯科急病診療所を補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休日歯科急病診療所は、歯科医師会の補助事業として、歯科急病患者の応急的治療を目的に、日曜日・祝日・年末年始に保健センター内において開設している。 ・診療時間は午前10時～正午までと午後1時30分～午後5時まで。 				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	患者の受け入れ率					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	100	100	100	100		
実績	100					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.03	0.15	0.13
正職員数	0.03	0.15	0.13
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	236	1,193	1,042
正職員人件費(換算額)	236	1,193	1,042
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	11,000	11,000	11,000
■事務事業の総計(千円)	11,236	12,193	12,042
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	11,236	12,193	12,042

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	休日歯科急病診療所の運営費を補助し、全ての休日において診療を行うことで、市内および市外の1,114人の患者が適切な医療を受けることができた。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	日曜日・祝日・年末年始に歯科急病を発症した場合でも、応急的治療を受けることができるように引き続き支援を行う。	

事務事業実績測定調書

10208030005	高度救命救急医療推進協議会負担金交付事業		
測定年度	2019(R1)年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち	
	取り組みの方向	30.初期救急医療から高度救急医療を含む各医療機関の連携強化により救急医療体制を確保するとともに、応急救護体制の充実を図ります。	
	実行計画事業名	救急医療体制・応急救護体制充実事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的の事務事業
事業期間	2006(H18)年度		~		
根拠法令等	北河内北東部地域高度救命救急医療補助金交付要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	重篤患者に対して迅速かつ適切な医療を提供することで、患者の生命を守ることができる。				
事業概要	北河内北東部の高度救命救急体制を維持するため、関西医科大学附属病院に対して、枚方市、寝屋川市、交野市の3市による支援を行う。				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	重篤患者の受け入れ人数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	人
目標(予測)	700	700	700	700		
実績	1,010					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.04	0.23	0.12
正職員数	0.04	0.23	0.12
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	315	1,829	962
正職員人件費(換算額)	315	1,829	962
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	10,600	10,601	10,601
■事務事業の総計(千円)	10,915	12,430	11,563
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	3,900	3,901	3,901
一般財源	7,015	8,529	7,662

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	144.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	高度救命救急医療推進協議会が関西医科大学附属病院へ補助金を交付し、北河内北東部の高度救命救急体制が維持されることによって、1,010人の重篤患者が受け入れられた。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	重篤患者に対して迅速かつ適切な医療を提供し、患者の生命を守ることができるよう、引き続き支援を行う。	

事務事業実績測定調査

10208030007	二次救急医療負担金交付事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	8. 安心して適切な医療が受けられるまち	
	取り組みの方向	30. 初期救急医療から高度救急医療を含む各医療機関の連携強化により救急医療体制を確保するとともに、応急救護体制の充実を図ります。	
	実行計画事業名	救急医療体制・応急救護体制充実事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的の事務事業
事業期間	2000 (H12) 年度		～		
根拠法令等	北河内二次救急医療協議会規約				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	北河内医療圏内の二次救急医療体制を確保・維持することで、救急患者が受診することができる。				
事業概要	<p>北河内7市の行政で「北河内二次救急医療協議会」を組織し、北河内医療圏域の二次救急医療に関する事務を共同で行う。</p> <p>①病院群輪番制病院運営事業補助 ②小児救急医療支援事業補助 ③北河内小児救急協力医療機関支援事業補助として、該当する医療機関に対して協議会から補助金を支出する。</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	二次救急医療協議会補助金(病院群輪番制病院運営事業)の対象医療機関における年間開設日数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	日
目標(予測)	366	365	365	365		
実績	366					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.15	0.31	0.28
正職員数	0.15	0.31	0.28
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	1,181	2,465	2,245
正職員人件費(換算額)	1,181	2,465	2,245
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	27,153	27,212	27,356
■事務事業の総計(千円)	28,334	29,677	29,601
国庫支出金	0	0	0
府支出金	16,801	16,828	16,924
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	11,533	12,849	12,677

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	二次救急医療体制を24時間366日確保した。 患者実績(令和元年度) ①病院群輪番制病院運営事業 106,901人 ②小児救急医療支援事業 2,963人 ③北河内小児救急協力医療機関支援事業 9,971人	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	小児救急を含めた二次救急医療体制を維持できるよう、医療機関への継続的な支援を行う。	

事務事業実績測定調査

10208030008	北河内夜間救急センター運営事業		
測定年度	2019(R1)年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち	
	取り組みの方向	30.初期救急医療から高度救急医療を含む各医療機関の連携強化により救急医療体制を確保するとともに、応急救護体制の充実を図ります。	
	実行計画事業名	救急医療体制・応急救護体制充実事業	
総合計画体系②	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち	
	取り組みの方向	30.初期救急医療から高度救急医療を含む各医療機関の連携強化により救急医療体制を確保するとともに、応急救護体制の充実を図ります。	
	実行計画事業名	初期救急医療体制再構築事業	

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的の事務事業
事業期間	1980(S55)年度		～		
根拠法令等	北河内夜間救急センター設置条例、北河内夜間救急センター設置条例施行規則、北河内夜間救急センター協議会規約				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	北河内夜間救急センターにおいて、夜間に小児科診療を受けられる。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 入院の必要がない軽症患者の小児科診療を行うため、北河内夜間救急センターにおいて、一般の診療所等が診療を行っていない夜間に小児科診療(中学校3年生まで)を実施する。 北河内7市で協議会を設置し、北河内夜間救急センター運営費を負担する。 				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	北河内夜間救急センターの年間開設日数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	日
目標(予測)	366	365	365	365		
実績	366					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.38	2.35	2.07
正職員数	1.38	2.35	2.07
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	10,866	18,685	16,595
正職員人件費(換算額)	10,866	18,685	16,595
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	159,575	150,483	146,112
■事務事業の総計(千円)	170,441	169,168	162,707
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	97,995	92,693	87,230
一般財源	72,446	76,475	75,477

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	関係大学や医師会の協力のもと、夜間の小児救急を365日実施できるよう、北河内7市が連携して北河内夜間救急センターを運営した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	北河内7市や医師会など関係機関が連携し、北河内夜間救急センターの適正な運営を行う。	

事務事業実績測定調査

10208040001	枚方市病院事業会計に対する負担金・補助金交付事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	8. 安心して適切な医療が受けられるまち	
	取り組みの方向	31. 市立ひらかた病院は、地域の中核となる公立病院として、地域の医療機関と連携しながら、安全な医療の提供を進めます。	
	実行計画事業名	救急医療体制・応急救護体制充実事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		～		
根拠法令等	地方公営企業法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市立ひらかた病院の経営健全化を促進し経営基盤を強化することで、市民が安心して適切な医療が受けられる。				
事業概要	・市立ひらかた病院の研究研修費や企業償還金、建設改良費などに要する経費について、地方公営企業法に基づき、一般会計から繰出しを行う。				

2. 指標推移

指標種類	指標設定なし					
指標の説明	—					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	—
目標(予測)	—	—	—	—		
実績	—	—	—	—		

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.05	0.05	0.05
正職員数	0.05	0.05	0.05
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	394	398	401
正職員人件費(換算額)	394	398	401
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	1,606,024	1,604,463	1,561,497
■事務事業の総計(千円)	1,606,418	1,604,861	1,561,898
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,606,418	1,604,861	1,561,898

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	地方公営企業法に基づき、市立ひらかた病院に対して繰出金を支出した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	内容を精査し、適正な繰出しを行う。	

事務事業実績測定調査

10208050001	医療通訳士登録派遣事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	8. 安心して適切な医療が受けられるまち	
	取り組みの方向	32. 外国人や聴覚障害者など誰もが安心して医療を受けることができる環境整備を進めます。	
	実行計画事業名	医療通訳士登録派遣事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2013 (H25) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	日本語を話せない外国人住民等が安心して市内の医療機関を利用し、適切に医療を受けることができる。コミュニケーションギャップに起因する医師の負担や診療上のリスクを軽減した医療を提供できる。				
事業概要	日本語を話せない外国人住民等が、安心して市内の医療機関を利用できるとともに、コミュニケーションギャップに起因する医師の負担や診療上のリスクを軽減できるよう医療通訳士の養成と、医療機関への派遣を行う。 【医療通訳士登録派遣(平成31年3月31日現在)】 派遣開始時期: 平成27年6月 対象言語: 英語、中国語、韓国語、朝鮮語の3カ国語 派遣対象機関: 市内53の医療機関及び保健センター 派遣料金: 無料 ※「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」の連携事業として実施。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	通訳士派遣依頼件数のうち派遣できた割合					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	95	95	95		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.40	0.67	0.67
正職員数	0.40	0.67	0.67
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	3,150	5,327	5,371
正職員人件費(換算額)	3,150	5,327	5,371
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	4,451	4,562	5,786
■事務事業の総計(千円)	7,601	9,889	11,157
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	7,601	9,889	11,157

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・医療通訳士の医療機関及び保健センターへの派遣を554件(中国語486件、英語56件、スペイン語11件、韓国・朝鮮語1件)実施した。 ・医療通訳士の増員及び対象言語の拡大を図るため、令和元年(2019年)9月から第4回枚方市医療通訳士養成講座(対象言語:中国語、英語、スペイン語の3カ国語)を開講し、同講座修了後の登録テストで合格した2人(中国語1人、英語1人)を令和元年(2019年)11月に枚方市医療通訳士として登録した。 ・医療通訳士に対するスキルアップ研修(現任研修)を実施した。 	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<ul style="list-style-type: none"> ・医療通訳士の利用件数が想定以上に伸びている。これ以上利用件数が増えると、病院へ医療通訳士を派遣する際の調整が困難となる。事業の効率化及び派遣調整の負担軽減を図るため、医療通訳士の個別派遣(現行)と、特に派遣件数が多い病院(1病院)の院内常駐(新規)との併用を令和2年1月から試行実施した。引き続き4月から本格実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、医療通訳士の派遣を令和2年2月から休止したため、本格実施に至っていない状況である。現行の個別派遣も含めて今後の再開時期を見極めるとともに、再開時には感染防止対策を講じたうえで派遣を行う必要がある。 ・昨年度実施した第4回医療通訳士養成講座について、同講座修了後の病院実習が新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施できていないことから、今後、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら病院実習を行う。 ・医療通訳士の増員及び対象言語の拡大に引き続き努めていく。 	

事務事業実績測定調書

10209010013	福祉サービス利用援助事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	9. 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち	
	取り組みの方向	34. 保健・医療・介護・福祉等の連携強化を図り、高齢者が継続して在宅生活ができる環境の整備をめざします。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1999 (H11) 年度		～		
根拠法令等	枚方市福祉サービス利用援助事業補助金交付要項				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	地域で安定した生活を送ることができ、権利が擁護される				
事業概要	平成12年6月の社会福祉法改正により第二種社会福祉事業として位置づけられる。認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が不十分な人の権利擁護を目的に、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行うもので、実施主体である社会福祉協議会を支援している。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	利用者への生活支援員による訪問件数と手続き代行件数の合計					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	8,058	8,058	8,058	8,058		
実績	8,098					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.03	0.13	0.13
正職員数	0.03	0.03	0.03
非正規職員数(計)	0.00	0.10	0.10
再任用職員数	0.00	0.10	0.10
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	236	731	751
正職員人件費(換算額)	236	239	241
非正規職員人件費(計)	0	492	510
再任用職員人件費(換算額)	0	492	510
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	9,897	12,701	12,483
■事務事業の総計(千円)	10,133	13,432	13,234
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	10,133	13,432	13,234

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.50%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	増加傾向にある利用相談に適切に対応するとともに金銭管理や手続代行等の支援を行っている。また、必要に応じて利用者の成年後見制度への移行等、個別の状況に応じた支援を行っている。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	サービス利用者の状況に応じた効率的な支援を継続することで、在宅生活の安定と自立生活の支援を図り、権利擁護につなげていく。	

事務事業実績測定調書

10209020005	成年後見制度活用推進事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	9. 高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち	
	取り組みの方向	35. 認知症の高齢者が尊厳を持ち、地域で安心して暮らせる環境づくりを進めます。	
	実行計画事業名	市民後見推進事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2016 (H28) 年度		～		
根拠法令等	老人福祉法、決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	成年後見に係る体制を整備することで、誰もが適切な支援を受け、地域で安心して生活することができる。				
事業概要	認知症、知的障害その他の精神上的の障害などがあることで、財産の管理や生活上の手続き等に支障がある方たちを、社会全体で支え合う重要な手段である成年後見制度の後見人について、専門職や社会福祉協議会以外で、本人と親族関係のない後見人の新たな担い手として、「一般市民」という立場で後見活動を行う「市民後見人」の養成及び育成を行う。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	市民後見人バンク登録者を対象とした研修への参加割合(実人数)					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	人
目標(予測)	—	100	100	100		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.00	0.00	0.48
正職員数	0.00	0.00	0.05
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.43
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.43
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	0	0	610
正職員人件費(換算額)	0	0	401
非正規職員人件費(計)	0	0	209
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	209
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	1,821
■事務事業の総計(千円)	0	0	2,431
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	0	2,431

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	<p>成年後見人の新たな担い手として、「市民後見人」の養成を行い、市民後見人養成講座の修了者4人のうち、市民後見人バンクに3人が登録した。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<p>市民後見人養成講座を開催するとともに、市民後見人バンク登録者を対象とした研修を実施し、市民後見人の受任に向けた取り組みを進めていく。</p>	

事務事業実績測定調査

10211010006	ハンセン病問題解決に係る啓発事業		
測定年度	2019(R1)年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	11.すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち	
	取り組みの方向	43.すべての市民の人権が大切にされる社会の実現に向け、人権問題を正しく理解し、一人ひとりの個性や価値観、多様な文化を認め合えるよう、人権教育・啓発の推進を図ります。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2009(H21)年度		～		
根拠法令等	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民や本市職員がハンセン病問題について深く理解し、偏見と差別のない社会が実現することで、ハンセン病回復者等が地域社会から孤立することなく、良好かつ平穏な生活を営むことができるようになる。				
事業概要	ハンセン病回復者等が地域社会から孤立することなく、良好かつ平穏な生活を営むことができるような社会の構築のため、本市職員及び市民の人権意識の向上を図る。 ハンセン病回復者等に対する偏見と差別のない社会の実現に向けて、市民等を対象とした講演会及び映画会の開催、ちらし・リーフレット等の配布により、ハンセン病問題に関する啓発を行う。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	イベント等への参加を通して人権意識の向上につながった人の割合 【算出式:啓発事業来場者アンケートで、「人権意識が向上した」と回答した人の数/回収数】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	80	80	80		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.34	0.33	0.28
正職員数	0.34	0.28	0.28
非正規職員数(計)	0.00	0.05	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.05	0.00
■人件費総額(千円)	2,677	2,324	2,245
正職員人件費(換算額)	2,677	2,226	2,245
非正規職員人件費(計)	0	98	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	98	0
■直接経費(千円)	207	33	6
■事務事業の総計(千円)	2,884	2,357	2,251
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	2,884	2,357	2,251

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	—	
事務事業の実績	<p>令和元年11月にハンセン病問題をテーマとした、パネル展示とDVD上映を市民、職員を対象に実施した。啓発を目的に作成した市民向けリーフレットをパネル展示の参加者に配布するとともに、関係課の窓口を設置し市民に配布した。 家族訴訟の結果を受け、賠償請求に関する情報をホームページに掲載した。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、啓発を行い、本市職員及び市民の人権意識の向上を図る。	

事務事業実績測定調書

10213010003	遺家族援護事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち	
	施策目標	13. 平和の大切さを後世に伝えるまち	
	取り組みの方向	47. 平和な社会の実現に向けて、平和意識の向上を図り、戦争の悲惨さを後世に伝える取り組みを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	不明		~		
根拠法令等	①戦没者及び戦傷病者の妻に対する特別給付金支給法 ②戦没者等の遺族に対する特別弔慰金支給法 等				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市内すべての弔慰金受給権者が申請を行い、弔慰金を受け取る。				
事業概要	特別弔慰金、特別給付金等の請求受理・送付業務・戦没者慰霊事業等の連絡業務・その他、援護関係PR業務				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	国債交付件数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	14	55	504	872		
実績	13					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	1.86	1.23	0.90
正職員数	0.90	0.90	0.90
非正規職員数(計)	0.96	0.33	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.96	0.33	0.00
■人件費総額(千円)	8,369	7,876	7,215
正職員人件費(換算額)	7,087	7,156	7,215
非正規職員人件費(計)	1,282	720	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	1,282	720	0
■直接経費(千円)	143	186	53
■事務事業の総計(千円)	8,512	8,062	7,268
国庫支出金	0	0	0
府支出金	177	70	56
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	8,335	7,992	7,212

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	92.86%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	令和元年度においては、主に戦没者等の遺族に対する第10回特別弔慰金の国債交付事務を行った。政令による法定受託事務で、申請の受付、府に対する進達事務が主である。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	令和2年4月1日から令和5年3月31日までを請求期間とする第11回特別弔慰金の請求受付・国債交付事務や国事業の戦没者等、戦傷病者等の妻に対する特別給付金の受付などを行う。また、これらの請求漏れがないよう周知に努める。	

事務事業実績測定調査

10524010003	ちびっこ広場管理事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	5. 自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち	
	施策目標	24. まちなかのみどりを育てるまち	
	取り組みの方向	84. 市民が、日常生活の中で自然とふれあい親しめる場を確保するため、まちなかのみどりや、子育て世帯など幅広い世代の人々にとって憩いの場となる公園、河川敷などの緑地空間を守り、創出します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		～		
根拠法令等	枚方市ちびっこ広場設置及び管理要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	底地管理している民地のちびっこ広場と集会所付き小規模公園を適正に管理し、幼児・児童の安全で楽しい遊び場の提供と、地域住民交流の支援を図る。				
事業概要	「ちびっこ広場(民地のみ)」と「集会所付小規模公園」について、地元住民や自治会等との調整を図りながら、要望等に基づく固定資産税非課税手続き、行政財産の目的外使用許可、安全確保のためのフェンスの改修等を行うもの。なお、遊具等の維持管理については公園所管部署が行う。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	要望に対し対応した割合					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	100	100	100	100		
実績	100					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.20	0.20	0.20
正職員数	0.20	0.20	0.20
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	1,575	1,590	1,603
正職員人件費(換算額)	1,575	1,590	1,603
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	272
■事務事業の総計(千円)	1,575	1,590	1,875
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,575	1,590	1,875

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	集会所付き小規模公園の階段部分に手すりがなく、高齢者が階段の上り下りに苦勞していることから、手すりの設置要望が1件あった。 手すりの設置を行い、要望事項を解消した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	今後も引き続き、適正管理に努めていく。	

事務事業実績測定調書

10629030007	福祉オンブズパーソン事業		
測定年度	2019(R1)年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり	
	施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます	
	取り組みの方向	96.市民からの意見を広く聴取し、取り組みの成果や課題などを市民と共有し、連携・協力を図りながら、まちづくりを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2000(H12)年度		～		
根拠法令等	枚方市福祉保健サービスに係る苦情の処理に関する条例、枚方市福祉保健サービスに係る苦情の処理に関する条例施行規則				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	納得して福祉サービスが利用できる環境の構築。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市が提供する福祉保健サービスについて、第三者機関である福祉オンブズパーソンが公平かつ中立な立場で苦情を調査し、必要な場合は市に対して意見表明を行う。 市はその意見などを尊重して苦情に対応する。 				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	相談件数のうち勧告・提言・意見表明を行った割合					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	100	100	100	100		
実績	100					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	2.21	2.13	1.13
正職員数	0.21	0.13	0.13
非正規職員数(計)	2.00	2.00	1.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	2.00	2.00	1.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	1,834	1,094	1,102
正職員人件費(換算額)	1,654	1,034	1,042
非正規職員人件費(計)	180	60	60
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	180	60	60
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	35	0	0
■事務事業の総計(千円)	1,869	1,094	1,102
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,869	1,094	1,102

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	100.00%	100%以上 : 高い
事務事業の実績	1件の苦情相談を受け、意見表明に至った。 広報ひらかたによる制度周知を実施した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、制度の周知に努める。	

事務事業実績測定調査

10629030008	社会福祉審議会(本審)運営事務		
測定年度	2019(R1)年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり	
	施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます	
	取り組みの方向	96.市民からの意見を広く聴取し、取り組みの成果や課題などを市民と共有し、連携・協力を図りながら、まちづくりを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	2014(H26)年度		～		
根拠法令等	枚方市社会福祉審議会条例、枚方市社会福祉審議会規則				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	円滑に事務を進められる				
事業概要	<p>・学識経験者、社会福祉や児童福祉の専門家、市民団体からの推薦者等で構成される「枚方市社会福祉審議会」を開催する。・審議会の委員の定数は19人以内で、任期は3年。(委員を増員する場合その他特別の事情がある場合にあつては、3年以内)なお、各施福祉分野について、専門的に調査審議するための専門分科会及び部会を設置。</p>				

2. 指標推移

指標種類	指標設定なし					
指標の説明	—					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	—
目標(予測)	—	—	—	—		
実績	—	—	—	—		

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	85.40	85.40	0.40
正職員数	0.40	0.40	0.40
非正規職員数(計)	85.00	85.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	85.00	85.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	5,003	4,729	3,207
正職員人件費(換算額)	3,150	3,180	3,207
非正規職員人件費(計)	1,853	1,549	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	1,853	1,549	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	36	88	137
■事務事業の総計(千円)	5,039	4,817	3,344
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	5,039	4,817	3,344

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の目標の実績度	—	
事務事業の実績	<p>社会福祉審議会(本審)を2回開催し、各福祉計画の策定や民生委員・児童委員の一斉改選等について情報共有等を行った。また、令和元年度に開催した社会福祉審議会(本審)及び各専門分科会、部会の各委員への委員報酬を適切に支払った。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な今後の取組方策	今後も引き続き、必要に応じて「枚方市社会福祉審議会(本審)」を開催する。	

事務事業実績測定調査

10629030009	地域福祉計画推進事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり	
	施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます	
	取り組みの方向	96.市民からの意見を広く聴取し、取り組みの成果や課題などを市民と共有し、連携・協力を図りながら、まちづくりを進めます。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2014 (H26) 年度		～		
根拠法令等	枚方市社会福祉審議会条例、枚方市社会福祉審議会規則				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課題を計画的・総合的に解決していくため地域福祉計画を策定し、計画に基づき施策等を進めていき、地域福祉が推進される 住民の間で情報が共有され、地域福祉活動がいつそう盛んになる				
事業概要	学識経験者、地域福祉の専門家、市民団体からの推薦者等で構成される「枚方市社会福祉審議会地域福祉専門分科会」を開催する。分科会では主に社会福祉法第107条に基づく市町村地域福祉計画の策定や進行管理等を審議する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	地域福祉計画冊子配布数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	冊
目標(予測)	—	400	100	50		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.15	0.15	0.40
正職員数	0.15	0.15	0.40
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	1,181	1,193	3,207
正職員人件費(換算額)	1,181	1,193	3,207
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	33	33	3,531
■事務事業の総計(千円)	1,214	1,226	6,738
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,214	1,226	6,738

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	—	
事務事業の実績	<p>枚方市地域福祉計画(第3期)【計画期間:H27~H31】の計画期間が最終年度を迎えるため、同計画の総括を行うとともに、第4期計画の策定にあたり諮問を行った「枚方市社会福祉審議会 地域福祉専門分科会」において、6回にわたる調査審議の上で答申を受け、令和2年3月に枚方市地域福祉計画(第4期)【計画期間:R2~R6】を策定しました。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	枚方市地域福祉計画(第4期)の進行管理・評価を行う。	

事務事業実績測定調書

10630010023	保護司会運営補助事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり	
	施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します	
	取り組みの方向	97.市民などによるまちづくり活動が活性化されるよう、ネットワークづくりの場の提供のほか、若手を中心とした新たな担い手の育成など、多様な手法により支援します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2009 (H21) 年度		~		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事務局が機能することで、関係組織との協力体制がいっそう円滑に行われるなど保護司会活動が推進され、市の更生保護が推進される。				
事業概要	「社会を明るくする運動」の中心的存在でもある保護司会の運営にかかる事務を円滑に遂行できるよう、枚方市社会福祉協議会を支援する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	保護司会活動数(定例会、校区懇談会の開催回数)					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	12	12	12	12		
実績	11					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.03	0.13	0.03
正職員数	0.03	0.03	0.03
非正規職員数(計)	0.00	0.10	0.00
再任用職員数	0.00	0.10	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	236	731	241
正職員人件費(換算額)	236	239	241
非正規職員人件費(計)	0	492	0
再任用職員人件費(換算額)	0	492	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	7,700	8,394	8,464
■事務事業の総計(千円)	7,936	9,125	8,705
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	7,936	9,125	8,705

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	91.67%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	保護司会の運営にかかる事務及び社会を明るくする運動の事務を、枚方市社会福祉協議会が円滑に遂行できるよう補助を行った。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、保護司が更正保護活動を円滑に行うために支援するとともに、枚方市社会福祉協議会が事務を円滑に遂行できるよう補助する。	

事務事業実績測定調査

10630010024	民生委員・児童委員大会開催事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり	
	施策目標	30.市民による活潑なまちづくり活動を支援します	
	取り組みの方向	97.市民などによるまちづくり活動が活性化されるよう、ネットワークづくりの場の提供のほか、若手を中心とした新たな担い手の育成など、多様な手法により支援します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2014 (H26) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	日ごろの活動に対し、勤続表彰等を受けることで活動の意欲を高められる。				
事業概要	<p>枚方市と枚方市民生委員児童委員協議会との共催により「枚方市民生委員・児童委員大会」を開催する。第1部の表彰式では厚生労働大臣特別表彰の伝達、社会福祉功労者厚生労働大臣表彰の伝達及び民生委員・児童委員としての勤続年数が10年、15年、20年、25年勤続者に対する市長表彰を、第2部では民生委員・児童委員の研修を行い、民生委員・児童委員の資質及び意欲の向上を図る。</p>				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	表彰の基準となる任期10年以上の民生委員・児童委員の割合					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	19.8	19.8	19.8		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.19	0.19	0.19
正職員数	0.19	0.19	0.19
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	1,496	1,511	1,523
正職員人件費(換算額)	1,496	1,511	1,523
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	143	201	786
■事務事業の総計(千円)	1,639	1,712	2,309
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	1,639	1,712	2,309

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	—	
事務事業の実績	<p>「第6回枚方市民生委員・児童委員大会」を、枚方市と枚方市民生委員児童委員協議会との共催により5月23日(木)に大阪歯科大学楠葉学舎講堂で開催した。</p> <p>第1部の表彰式では、2名の社会福祉功労者厚生労働大臣表彰の伝達、21名の民生委員・児童委員に対する永年勤続市長表彰(20年勤続9名、15年勤続2名、10年勤続10名)を行う。第2部では、研修として、市長による枚方のまちづくりをテーマとする講演を行った。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	民生委員・児童委員活動の強化推進に資するため、引き続き、同大会の開催を通じて民生委員・児童委員の資質及び意欲の向上を図る。	

事務事業実績測定調査

10630010025	民生委員研修事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり	
	施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します	
	取り組みの方向	97.市民などによるまちづくり活動が活性化されるよう、ネットワークづくりの場の提供のほか、若手を中心とした新たな担い手の育成など、多様な手法により支援します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1974 (S49) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	民生委員としての知識や技術などを習得することで、資質が向上する。				
事業概要	枚方市民生委員児童委員協議会に委託し、民生委員・児童委員及び主任児童委員に対して、福祉施設の視察や福祉制度についての勉強会など各種研修を実施する。中核市移行に伴い、大阪府から権限の委譲を受け、民生委員法第18条に基づき、民生委員・児童委員及び主任児童委員に対して、社会福祉法人大阪府社会福祉協議会が実施する指導訓練に係る研修を実施している。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	研修参加者における、研修に対する満足度 【算出式:研修後、アンケートを実施し、参加者のうち、「満足」「やや満足」と回答した割合】					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	80	80	80		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.06	0.06	0.06
正職員数	0.06	0.06	0.06
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	472	477	481
正職員人件費(換算額)	472	477	481
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	4,314	4,314	4,354
■事務事業の総計(千円)	4,786	4,791	4,835
国庫支出金	430	426	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	4,356	4,365	4,835

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員に対して、14地区で福祉施設への視察研修や福祉制度についての勉強会など、合計80回の研修を行った。 ・主任児童委員に対して、福祉施設への視察研修など、合計10回の研修を行った。 ・民生委員・児童委員及び主任児童委員に対して、大阪府社会福祉協議会大阪社会福祉研修センターが実施する指導訓練に係る研修を合計10回行った。 	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	民生委員活動及び主任児童委員活動に必要とされる事項について、継続して研修を実施し民生委員・児童委員の資質の向上を図る。	

事務事業実績測定調書

10630010026	民生委員児童委員協議会事務補助事業		
測定年度	2019(R1)年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり	
	施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します	
	取り組みの方向	97.市民などによるまちづくり活動が活性化されるよう、ネットワークづくりの場の提供のほか、若手を中心とした新たな担い手の育成など、多様な手法により支援します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2003(H15)年度		～		
根拠法令等	民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金事務補助金交付要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事務局が設置されることで、民生委員・児童委員の活動が円滑に推進され、市民の福祉が向上する。				
事業概要	民生委員児童委員協議会の事務局事務を行う社会福祉協議会を支援する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	民生委員・児童委員の延べ活動件数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	—	7,000	7,000	7,000		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.03	0.13	0.20
正職員数	0.03	0.03	0.10
非正規職員数(計)	0.00	0.10	0.10
再任用職員数	0.00	0.10	0.10
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	236	731	1,312
正職員人件費(換算額)	236	239	802
非正規職員人件費(計)	0	492	510
再任用職員人件費(換算額)	0	492	510
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	31,694	33,798	19,538
■事務事業の総計(千円)	31,930	34,529	20,850
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	31,930	34,529	20,850

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	補助金の交付により、本市における民生委員児童委員協議会の活動が円滑に行われる環境整備に寄与した。民生委員活動及び主任児童委員活動に必要とされる事項について継続して研修を実施し、民生委員・児童委員の資質の向上を図る。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、枚方市民生委員児童委員協議会の事務局を担う枚方市社会福祉協議会に対する補助を通し、社会福祉の増進を図る。	

事務事業実績測定調査

10630010027	民生委員推薦事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり	
	施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します	
	取り組みの方向	97.市民などによるまちづくり活動が活性化されるよう、ネットワークづくりの場の提供のほか、若手を中心とした新たな担い手の育成など、多様な手法により支援します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	不明		~		
根拠法令等	民生委員法				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	全校区に定数どおりの民生委員・児童委員が配置されている。				
事業概要	枚方市民生委員・児童委員定数条例に規定する定数に沿って、全民生委員・児童委員の任期が満了となる一斉改選(3年に一度)時には年2回、その他の年については欠員補充に伴い年3回、枚方市民生委員推薦会を開催して、民生委員・児童委員の候補者を厚生労働大臣に推薦する。平成26年4月からの中核市移行に伴って大阪府から権限が委譲された事務で、大阪府が一部負担していた民生委員活動費負担金も、中核市移行後は市が全額負担している(地方交付税措置あり)。				

2. 指標推移

指標種類	アウトプット指標					
指標の説明	民生委員の充足率(翌年度4月1日時点)					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	—	90	91	91		
実績	—					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	9.48	9.46	9.10
正職員数	0.48	0.46	0.51
非正規職員数(計)	9.00	9.00	8.59
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	9.00	9.00	8.25
臨時職員数	0.00	0.00	0.34
■人件費総額(千円)	4,027	3,895	4,906
正職員人件費(換算額)	3,780	3,657	4,089
非正規職員人件費(計)	247	238	817
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	247	238	124
臨時職員人件費(実額)	0	0	693
■直接経費(千円)	36,554	36,754	39,423
■事務事業の総計(千円)	40,581	40,649	44,329
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	40,581	40,649	44,329

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	—	
事務事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員の一斉改選及び欠員補充のため、年2回(8月、2月)に推薦会を開催し、合計482名の民生委員・児童委員候補者を厚生労働大臣に推薦した。 ・令和元年6月定例会において、令和元年12月1日の一斉改選に向け、厚生労働省が定める基準も踏まえ、民生委員・児童委員の定数を540名から545名に変更する枚方市民生委員・児童委員定数条例の一部改正議案を提出し可決された。 	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	欠員地域については校区コミュニティ協議会に働きかけ、欠員補充を依頼する。	

事務事業実績測定調査

10630010031	献血推進事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり	
	施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します	
	取り組みの方向	97.市民などによるまちづくり活動が活性化されるよう、ネットワークづくりの場の提供のほか、若手を中心とした新たな担い手の育成など、多様な手法により支援します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明		~		
根拠法令等	枚方市献血推進事業補助金交付要項				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事業が継続されることで、年間を通しての継続的な献血量が確保される。				
事業概要	枚方市社会福祉協議会が献血推進協議会を設置し、事業計画に基づく献血事業を毎年展開。京阪枚方市駅、樟葉駅前での街頭キャンペーンをはじめ、校区福祉委員会との連携あるいは高校、大学の学域、事業所、病院、市役所等の職域などの関係機関・団体にも協力を依頼するなど、献血活動を推進。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	採血者数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	26,000	26,000	26,000	26,000		
実績	20,910					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.03	0.13	0.03
正職員数	0.03	0.03	0.03
非正規職員数(計)	0.00	0.10	0.00
再任用職員数	0.00	0.10	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	236	731	241
正職員人件費(換算額)	236	239	241
非正規職員人件費(計)	0	492	0
再任用職員人件費(換算額)	0	492	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	4,660	5,610	5,514
■事務事業の総計(千円)	4,896	6,341	5,755
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	4,896	6,341	5,755

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	80.42%	80%以上100%未満 : やや高い
事務事業の実績	令和元年度は400ml献血・成分献血の推進を図るとともに、若年層の献血への参加に向けた取り組みや庁内献血に重点を置き活動を展開。また、枚方市駅献血ルームの啓発活動として、関係機関・団体等の協力により、市内全域にポスターを掲示するなど、献血活動を推進した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	駅前での街頭キャンペーンや市内の高校・大学などを中心に啓発活動を行うとともに、各関係機関の協力を得ながら、引き続き献血活動を推進していく。	

事務事業実績測定調査

10630010032	校区福祉活動推進事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり	
	施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します	
	取り組みの方向	97.市民などによるまちづくり活動が活性化されるよう、ネットワークづくりの場の提供のほか、若手を中心とした新たな担い手の育成など、多様な手法により支援します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1998 (H10) 年度		～		
根拠法令等	枚方市補助金等交付規則、枚方市校区福祉小地域ネットワーク活動推進事業補助金交付要項				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	<ul style="list-style-type: none"> 支援を必要とする方すべてに支援が行き届いている。 地域での活動に年代性別問わず多くの方が参加しており、担い手の養成も進んでいる。 				
事業概要	地域で安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合い、助け合い活動を小学校区域で行う校区福祉委員会の活動をサポートする社会福祉協議会を支援する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	校区福祉小地域ネットワーク活動 延べ参加人数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	人
目標(予測)	—	79,000	79,000	79,000		
実績	85,428					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.03	0.13	0.03
正職員数	0.03	0.03	0.03
非正規職員数(計)	0.00	0.10	0.00
再任用職員数	0.00	0.10	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	236	731	241
正職員人件費(換算額)	236	239	241
非正規職員人件費(計)	0	492	0
再任用職員人件費(換算額)	0	492	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	30,973	36,805	38,658
■事務事業の総計(千円)	31,209	37,536	38,899
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	31,209	37,536	38,899

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	—	
事務事業の実績	<p>高齢者、障害者(児)、子育て中の親子などが地域で安心して生活できるように、適正に事業を執行した。なお、費用面については、平成26年度から中核市に移行したことに伴い府支出金がなくなり、全額一般財源となっている。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	地域福祉のさらなる推進に向け、引き続き適正に事業を行っていく。	

事務事業実績測定調査

10630010033	福祉活動・福祉団体等補助事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり	
	施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します	
	取り組みの方向	97.市民などによるまちづくり活動が活性化されるよう、ネットワークづくりの場の提供のほか、若手を中心とした新たな担い手の育成など、多様な手法により支援します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明		～		
根拠法令等	枚方市福祉活動・福祉団体等補助金交付要項				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	当事者同士の情報交換や交流などをすることができ福祉活動が推進される				
事業概要	地域福祉活動促進を図るため、福祉団体等を支援する。 ①福祉団体助成金 ②福祉団体連絡会助成 ③福祉活動助成金(やすらぎ音楽祭) ④ひとり暮らし老人会運営助成金				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	障害者週間啓発キャンペーン 午前の部、午後の部参加人数の合計					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	人
目標(予測)	—	191	191	191		
実績	120					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.03	0.13	0.13
正職員数	0.03	0.03	0.03
非正規職員数(計)	0.00	0.10	0.10
再任用職員数	0.00	0.10	0.10
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	236	731	751
正職員人件費(換算額)	236	239	241
非正規職員人件費(計)	0	492	510
再任用職員人件費(換算額)	0	492	510
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	5,098	5,792	5,741
■事務事業の総計(千円)	5,334	6,523	6,492
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	5,334	6,523	6,492

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	—	
事務事業の実績	ひとり暮らし高齢者の会や障害者(児)団体等、各種福祉団体が円滑な組織運営ができるように、事業を適正に執行した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	各種福祉団体のより円滑な組織運営に向け、今後も客観的に検証しながら事業を実施していく。	

事務事業実績測定調査

10630010035	ひらかたポイント事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり	
	施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します	
	取り組みの方向	97.市民などによるまちづくり活動が活性化されるよう、ネットワークづくりの場の提供のほか、若手を中心とした新たな担い手の育成など、多様な手法により支援します。	
	実行計画事業名	ひらかたポイント事業	
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2018 (H30) 年度		～		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	ポイント付与というインセンティブを契機に、ターゲットが市の事業やまちづくりにも興味を持ち、積極的に参画している状況を形成し、ひいてはターゲットの健康増進・長寿や地域経済の活性化に寄与している状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年1月15日から運用を開始。第5次総合計画での重点的に進める施策から、健康・長寿・子育てに係る7つの事業でのポイント付与対応を開始した(ひらかたカラダづくりトライアル、健康教室、高齢者運転免許証自主返納促進事業、離乳食幼児食講習会、子育て講演会、自殺予防対策事業(ゲートキーパー養成研修)、枚方市ファミリーサポートセンター)。平成31年4月以降、特定健診、各種がん検診等を追加した16の事業を対象とし、また健康、スポーツ関連のイベント、セミナーについても、各内容に応じてポイント付与を行う等、対象事業の拡大に努めている。 平成31年4月には、京阪バスポイントサービスと連携し、京阪バスポイントサービスのICOCA利用者の運賃にポイントを交換できる仕組みを導入した。 ひらかたポイントカードの発行数の拡大及び、協力店舗の拡大については、委託事業者である株式会社フューチャーリンクネットワークをはじめ、北大阪商工会議所と連携、協力し、各種イベントでのブース出展、地域での説明会実施等を行い、普及啓発に努めている。 				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	ポイント利用率(累計発行ポイントに対する累計利用ポイントの割合)					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	%
目標(予測)	35	35	50	50		
実績	9.9					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.00	1.36	1.37
正職員数	0.00	1.36	1.37
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	0	10,908	10,983
正職員人件費(換算額)	0	10,813	10,983
非正規職員人件費(計)	0	95	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	95	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	45,829	42,270
■事務事業の総計(千円)	0	56,737	53,253
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	56,737	53,253

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	28.29%	50%未満 : 低い
事務事業の実績	<p>・昨年度の7事業に加えて、特定検診、各種がん検診等、高齢者お出かけ推進事業、ひらかた生き生きマイレージ事業、サポートフレンド事業など合計16事業をポイント付与対象とした。 委託事業者、北大阪商工会議所と連携協力し、ポイント利用に係る協力店舗拡大に取り組むとともに、各種イベントに出展し、制度周知とカード配布に取り組んでいる。 ・平成31年4月には、京阪バスポイントサービスと連携し、京阪バスポイントサービスのICOCA利用者の運賃にポイントを交換できる仕組みを導入した。</p>	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	<p>①カード発行数の拡大について、ポイント付与対象事業課と連携し、効率的・効果的に広報・配布を行う。各種イベントでのPRブース設置や特定健診案内封書へのチラシ同封のほか、Web申込によりカードが自宅に届く新たなカード配布方法を検討する。②協力店舗の拡大について、委託事業者、北大阪商工会議所と連携し、拡大エリアを決めた戦略的な店舗拡大策等を検討、実施する。③ポイント付与事業等の拡大について、健康福祉やスポーツ分野等の対象事業を追加するとともに、関西医科大学健康科学センターとの連携による歩数計アプリを活用したポイント付与事業の実施を目指す。</p>	

事務事業実績測定調書

10630010036	日本赤十字社事務補助事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり	
	施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します	
	取り組みの方向	97.市民などによるまちづくり活動が活性化されるよう、ネットワークづくりの場の提供のほか、若手を中心とした新たな担い手の育成など、多様な手法により支援します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2003 (H15) 年度		～		
根拠法令等	民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金事務補助金交付要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	奉仕団の活動が円滑に推進され、赤十字運動が広く展開されることで、市民の福祉が向上する。				
事業概要	日本赤十字社法第7条の規定に基づく枚方市地区の赤十字活動にかかる事務を行う社会福祉協議会を支援する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	奉仕団による延べ活動件数(地域への啓発活動、街頭募金、炊き出しなど)					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	13	13	13	13		
実績	8					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.00	0.00	0.10
正職員数	0.00	0.00	0.10
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	0	0	802
正職員人件費(換算額)	0	0	802
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	9,635
■事務事業の総計(千円)	0	0	10,437
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	0	10,437

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
	61.54%	50%以上80%未満 : やや低い
事務事業の実績	赤十字運動の推進を図るため、枚方市赤十字奉仕団の運営支援を行った。 市民への赤十字活動の啓発のほか研修等も行ったが、新型コロナウイルスの影響により、奉仕団による活動の一部を中止した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、枚方市社会福祉協議会に対する補助を通し、社会福祉の増進を図る。	

事務事業実績測定調書

10630010037	共同募金会事務補助事業		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり	
	施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します	
	取り組みの方向	97.市民などによるまちづくり活動が活性化されるよう、ネットワークづくりの場の提供のほか、若手を中心とした新たな担い手の育成など、多様な手法により支援します。	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2003 (H15) 年度		～		
根拠法令等	民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金会事務補助金交付要綱				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	共同募金会の活動が円滑に推進され、募金活動によって集められた募金が、市内のボランティア活動などの助成に充てられることで、市民の福祉が向上する。				
事業概要	社会福祉法にも位置づけられる「共同募金」について、大阪府共同募金会の定款第20条の規定に基づく本市を1地区とする活動にかかる事務を行う社会福祉協議会を支援する。				

2. 指標推移

指標種類	アウトカム指標					
指標の説明	助成事業数					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	件
目標(予測)	13	13	13	13		
実績	12					

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	0.00	0.00	0.10
正職員数	0.00	0.00	0.10
非正規職員数(計)	0.00	0.00	0.00
再任用職員数	0.00	0.00	0.00
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	0.00	0.00	0.00
臨時職員数	0.00	0.00	0.00
■人件費総額(千円)	0	0	802
正職員人件費(換算額)	0	0	802
非正規職員人件費(計)	0	0	0
再任用職員人件費(換算額)	0	0	0
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	0	0	0
臨時職員人件費(実額)	0	0	0
■直接経費(千円)	0	0	6,073
■事務事業の総計(千円)	0	0	6,875
国庫支出金	0	0	0
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	0	6,875

4. 実績測定

2019(R1)年度の 目標の実績度	実績/目標(予測)	実績度
		92.31%
事務事業の実績	共同募金の総額:19,649,975円 (【内訳】赤い羽根共同募金:8,530,149円 歳末たすけあい募金:11,119,826円) 補助金の交付により、本市における共同募金会の活動が円滑に行われる環境整備に寄与した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	引き続き、枚方市社会福祉協議会に対する補助を通し、社会福祉の増進を図る。	

事務事業実績測定調査

10999990030	健康福祉総務課運営事務		
測定年度	2019 (R1) 年度	14000100	健康福祉部健康福祉総務課
総合計画体系	基本目標	9: 施策体系外	
	施策目標	99: 施策体系外	
	取り組みの方向	99: 施策体系外	
	実行計画事業名		
総合計画体系②	基本目標		
	施策目標		
	取り組みの方向		
	実行計画事業名		

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		~		
根拠法令等	決裁				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営を円滑に行う。				
事業概要	市議会対応、部の予算・決算処理、事務事業・公約施策等の取りまとめなど福祉施策全般の調整、社会福祉協議会の運営に関する委員委嘱・報酬支払い、寄付金・募金等の受付、福祉部及び福祉総務課の照会回答取りまとめ、庶務事務など。				

2. 指標推移

指標種類	指標設定なし					
指標の説明	—					
年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	単位	—
目標(予測)	—	—	—	—		
実績	—	—	—	—		

3. 職員配置と費用の推移

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度
□配置職員の総数(人)	5.76	7.38	3.79
正職員数	4.31	4.22	3.30
非正規職員数(計)	1.45	3.16	0.49
再任用職員数	0.25	0.00	0.10
任期付職員数	0.00	0.00	0.00
非常勤職員数	1.00	3.00	0.00
臨時職員数	0.20	0.16	0.39
■人件費総額(千円)	35,405	34,062	27,762
正職員人件費(換算額)	33,937	33,553	26,456
非正規職員人件費(計)	1,468	509	1,306
再任用職員人件費(換算額)	1,111	0	510
任期付職員人件費(換算額)	0	0	0
非常勤職員人件費(実額)	83	188	0
臨時職員人件費(実額)	274	321	796
■直接経費(千円)	16,366	24,612	6,533
■事務事業の総計(千円)	51,771	58,674	34,295
国庫支出金	18	35	76
府支出金	0	0	0
市債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他	13,695	5,111	4,994
一般財源	38,058	53,528	29,225

4. 実績測定

	実績/目標(予測)	実績度
2019(R1)年度の 目標の実績度	—	
事務事業の実績	庁内外との連絡調整、運営・庶務事務について、適正に執行した。	
今後の方向性	現状のまま継続	
具体的な 今後の取組方策	継続して円滑に運営事務及び庶務事務を執行していく。	